

公表

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名		リールズメイト蚩池		公表日		令和8(2026)年3月25日		利用児童数		21名		回収数		21名	
		チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見		ご意見を踏まえた対応					
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。		11	5	0	3								
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。		16	0	0	3								
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。		19	0	0	0								
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。		18	0	0	1								
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。		19	0	0	0	人によるところはあると思いますが、特性に応じた支援はしてくださっています		モニタリングの機会等を活用し、お子様の個性やニーズの相互共有により安全な支援体制確保に努めていく。					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。		19	0	0	1								
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。		20	0	0	0	支援計画も個々に合った目標設定、次のステップへの提案などとして下さりとても助かっています。		日々の支援やモニタリングの機会等を活用し、今後もお子様の個性やニーズの相互共有により安全な支援体制確保に努めていく。					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。		20	0	0	0								
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。		20	0	0	0								
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。		16	2	0	0								
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。		3	3	6	6	機会はありませんが、デイでの必要性はあまり感じていません。		機会の提供に加え、意義・目的についても丁寧にお伝えするよう努める。					
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。		19	0	1	0								
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。		19	0	0	0								
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。		5	0	5	8								
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。		20	0	0	0								
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。		20	0	0	0								
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。		20	0	0	0								
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		1	1	9	6									

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	0	0	2	体制は整っていると思いますが、周知されているかどうかはわかりません。しかし、相談は迅速に対応していただけています。	迅速かつ丁寧な連絡・報告に努め、安心してご利用頂ける支援体制を確保していく。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19	1	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9	0	0	10		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	0	0	2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	0	0	9		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14	0	0	6		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	0	0	5		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	0	0	4		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	20	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	19	0	0	0	気分によるので、楽しい日も行きたく無い日もあります。	引き続き、通所を楽しみにできる支援の充実に努める。
	29	事業所の支援に満足していますか。	19	0	0	0		

公表

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		リールスメイト虫池				公表日 2026年 3月 25日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	ボール遊びや激しい運動は難しいですがそれを除くとすごせれていると思われる	床での作業や遊びをされている子がいるので机に向かわせて行き場所を確保したい。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	2	現状個の人数で運営が出来ていると思われる。	人数はこれで大丈夫と思われるのだがスタッフがまだ仕事に慣れていないので今後の研鑽で落ち着いてくると思われる。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	見通しの良いワンフロア型で、車いすの方でもすごせれるよう、スロープ、身障者用トイレもあります。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	清潔になるよう心掛けていております。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	時間制で個室利用ができております。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	毎年目標設定の更新と進捗状況の面談があります。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	送迎時の確認。モニタリングによる確認。お電話・メールでの確認をしております。	稀に難しい改善要求をされる方がいますのでそういった対応は難しいです。（事業所を増やしてなど）	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	可能な範囲での改善は行っております。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	0	本社機関での内部監査の実施を行っております。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	都度研修を行っております。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	適宜見える様にさせてもらっております。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	本人・親御様のニーズも考えた上で取り組ませて頂いております。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	2	共通の認識のもと支援にはあたらせて頂いております。	子どもにとっての最善が子供の要望を全てかなえるという意味ではないので親御様や各関係機関の意見も聞きながら支援をさせて頂いております。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	計画を基準として支援をさせて頂いております。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	2	連絡帳だけではなく日々の様子記録も見ております。	インフォーマルというワードが馴染みがなくてわからなかったスタッフがいるのでかみ砕いて説明しております。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	各項目を計画書内にて反映させて頂いております。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	各担当で動かれております。	まだスタッフになって間もない方もいますので徐々に取り組ませていきます。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	2	月に数回は新しいプログラムは立案しています。	固定にするほうがよい児童様もいますのでこの辺は難しいかなと思っています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	状況・時間・環境を考慮し両立できるよう図っております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	毎朝会議にて当日の動きの確認をしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	勤務時間が許す限り終礼も行っている。	必ずといわれると必ずではない。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	会議にて振り返り検証を行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	計画が大きく進んだ際などは適時見直しは修正等の受付はしております。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0	取り組ませて頂いております。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	“選択”させることを日常支援の中で取り入れております。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	可能な限り時間を作って参加してくれています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	情報の共有（最新の状況や現在の課題点などのお話し合いをさせてもらっています。）	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	上記と同じ	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	0	現在は該当者がいないのですが可能な限り対応には努めさせていただきます。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0	卒業される前に相談支援さん・親御様に卒業先用の支援計画資料などを送らせて頂いております。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	2	児童発達支援センターとの更なる連携に努めたいと思います。	スーパーバイズの意味がわからないスタッフさんもいましたので説明しております。児童発達支援センターの方にも今後スタッフを紹介したいと思います。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	0	児童館での交流や地域のお祭りイベントに参加させてもらっておりその際に交流が図れるようにしております。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	5	スタッフの配置に余裕があれば参加が出来るのですが現行の制度上中抜けが難しいです・・・	時間を合わせて参画していく必要があります。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	会議項目の中に入れさせてもらっています。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3	送迎時やお電話、対面で個別にての状況提供などはできるのですが研修とまではなっておりません。	家族参加型の研修は行っておりませんので今後作っていきたいとは思っております。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	契約時、受給者証の更新時などに説明をさせていただきますいております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	モニタリングの更新時にご家族様の意向・児童様の意向を聞く時間をとらせていただいております。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	面談後にて支援内容の大筋は決めておき、その後に加筆、修正点がある場合は適時説明させていただきますっております。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	皆さん（スタッフも）時間を作って対応していると思います。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	5	家族参加型のイベントは設けていませんが見学などは随時OKにしましてその際にご兄弟さんを連れてきてもらってもOKとさせていただきます。	利用者様の中でニーズが高まってきましたら開催を検討したいと思います。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	迅速に対応にあたらせて頂いております。当日中に連絡がとれるよう日をまたがないよう対応させてもらっています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	ブログにて毎月更新・掲載中	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	連絡帳に住所・連絡先欄の廃止。万が一紛失した際に所在がわからないようにしています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	絵カード、マカトン、予定ボードをベースにしご家庭の使っている物も参考にしながら個別用のも用意したりしています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	0	開かれているかどうかは判断できかねますが地域の方との交流は良好かなと思っております。こういった施設なども理解して頂いております。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	各月適時取り組んでおり、実践訓練も想定を毎年変えて取り組んでおります。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	各月適時取り組んでおり、実践訓練も想定を毎年変えて取り組んでおります。避難先が遠いので一時避難場所も決めております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	初回アセスメントにて聞き取り後はモニタリングの更新時にもアセスメントの更新をしますのでその際に聞いております。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	アレルギー対応表を利用者様ごとにキッチンに置いております。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	適時研修・訓練の実施を行っております。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	他の事業所の事例案も確認しながら、児童様の特性も変わりますので、都度お話を伺い安全計画を作成	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	5	0	毎月1回は必ず会議の開催。緊急性の高い事案はすくに対処するようにしています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	1	スタッフとは毎月対面協議をしています。その中で事例もあわせて虐待か否かの検討会議をしています。生活の中でのシミュレーションをしてみることも取り組んでいます。	なにももって適正なのかも皆さんと検討した上で親御様にも意見を頂いて個々に合わせた対応方法を決めてますのでなんでもかんでも虐待とするのではなくきちんと見極めて対応したいです。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	現在身体拘束者0名なのですが今後必要とあらば説明など真摯に取り組みます。		

公表

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	リールスメイト蛭池		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		～ 2026年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		～ 2026年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<b>幅広い層の障がい児童の支援</b> ：当事業所では様々な障がい児童さんが集団での生活をしています。障がいの度合いによって利用をお断りすることなく受け入れをすることにしていて、各ご利用者様にも様々な特性の子がいることも知ってもらいたいと思っております。共生できる手段をスタッフも学び児童さんにも感じ取ってもらえればと思います。	総合的な支援ができることをしておりまして個別活動（学習・巧緻性の向上・生活課題）と集団活動（グループで活動を通して動く練習）をしております。 余暇時間の過ごし方も児童さんたちにアンケートを取り、デイ内にあるものがあるならお買い物練習を兼ねて買いに行き、お出かけをするなら児童さんと計画を立てて遊びに行くようにしています。	行っている取り組みは良いと思っていますのでこれらの幅を引き続き広げていくように取り組んでいければと思っております。後、どうしてもスタッフが入れ替わるタイミングがありますのでその際にも短い期間で安定した支援ができるよう取り組みたいと思います。
2	<b>利用日の多さ</b> ：昨今の家庭環境に合わせられるように営業日を多くとっています。又、活動時間も多めにとっていますので共働きの世帯の方でも利用しやすいかと思っております。親御様にも生活にゆとりをもたらすことで家庭が円滑になると思っております。	急な時間変更にも対応できるようにしております。その際に児童さんに予定の変更を先に伝えております。 ご家族様の急なトラブルなどで時間変更が起こる際もそれ一つの経験としてとらえていますので児童さんがパニックになっても「そーいうこともある。」という気持ちで見せていただいております。	現行の制度ではこれが限界かなと捉えています。定員超過が難しいので新規のお問い合わせをお断りするケースが増えておりますので他事業所様の斡旋などができるように努めたいと思います。
3	<b>同グループ施設との連携</b> ：近く同グループのショートステイがありますので連携して動くことが出来ます。日中はデイを利用して帰りはショートステイのお迎えが来てそこからショートステイで宿泊練習をすることなどもできます。	同グループ店舗さんとのやり取りや連絡などで利用日などの共有お互いに気になることがありましたらすぐ連絡にてやり取りできるようにしております。	少し遠いのですが同グループの放課後等デイもありますので連携を図って活動の共有や交流なども引き続き、もっとたくさんできれば良いかなと思っております。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<b>児童発達支援の児童さんが少ない</b>	現在利用されている未就学児童さんが少ない為、同じ世代間で遊びや活動の共有などが難しく感じております。同年代で取り組みをさせたい！というご家庭様のニーズには応えられていないです。	現在の事業所では年齢層を合わせていくのは難しいのですが年齢層の違うメリットなども教えていければと思っておりますとそういった学年層を合わせたデイさんを紹介できるようにもなれればと思います。
2	<b>新規で児童さんが入りづらい</b>	去年度でも同じ事を書かせて頂きましたが、今期も現状空きがなく、新規での利用者が入れなくてメンバーの固定化になります。なので、同世代がいなくて来て欲しい！という方のご希望には沿えずらいです・・	現状の定員枠ではこれ以上は難しいので新しい施設の進言や他事業所さんとの連携を図り、開いている施設さんの促してみるなどしたいです。
3	<b>スタッフの入れ替わり</b>	どこの施設さんでもあるかもしれませんがスタッフの入れ替わりがどうしてもおこってしまいます。事情も様々なのですが若いスタッフさんが将来を見据えられるお仕事としては見づらいのだと思います。	現役世代の方がこれから来てくれる若い世代の子の育成をしていく中で魅力のアピールもするのですがそれだけでは無理があるので待遇面での改善も会社に訴えていくのと国自身も変わっていただけるよう訴えかけたいです。

公表

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名 リールスメイト虫池

公表日 令和8(2026)年3月25日

利用児童数

0名

回収数

0名

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。						
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。						
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。						
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。						
適切 な支 援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。						
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。						
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。						
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。						
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。						
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。						
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。						
保護 者へ の 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。						
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。						
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。						
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。						
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。						
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。						
	18 文母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。						

す	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。					
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。					
	29	事業所の支援に満足していますか。					

公表

## 児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		リールスメイト虫池				公表日	2026年3月25日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	ボール遊びや激しい運動は難しいですがそれを除くとすごせれていると思われる	床での作業や遊びをされている子がいるので机に向かって行き場所を確保したい。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	2	現状個の人数で運営が出来ていると思われる。	人数はこれで大丈夫と思われるのだがスタッフがまだ仕事に慣れていないので今後の研鑽で落ち着いてくると思われる。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	見通しの良いワンフロア型で、車いすの方でもすごせれるよう、スロープ、身障者用トイレもあります。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもの活動に合わせた空間となっているか。	5	0	清潔になるよう心掛けております。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	時間制で個室利用ができております。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	毎年目標設定の更新と進捗状況の面談があります。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	送迎時の確認。モニタリングによる確認。お電話・メールでの確認をしております。	稀に難しい改善要求をされる方がいますのでそういった対応は難しいです。(事業所を増やしてなど)	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	可能な範囲での改善は行っております。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	0	本社機関での内部監査の実施を行っております。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	都度研修を行っております。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	適宜見える様にさせてもらっております。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0	本人・親御様のニーズも考えた上で取り組ませて頂いております。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	2	共通の認識のもと支援にはあたらせて頂いております。	子どもにとっての最善が子供の要望を全てかなえるという意味ではないので親御様や各関係機関の意見も聞きながら支援をさせて頂いております。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	計画を基準として支援をさせて頂いております。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	2	連絡帳だけではなく日々の様子記録も見ております。	インフォーマルというワードが馴染みがなくてわからなかったスタッフがいるのでかみ砕いて説明しております。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	各項目を計画書内にて反映させて頂いております。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	各担当で動かれております。	まだスタッフになって間もない方もいますので徐々に取り組ませていきます。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	2	月に数回は新しいプログラムは立案しています。	固定にするほうがよい児童様もいますのでこの辺は難しいかなと思っています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	状況・時間・環境を考慮し両立できるよう図っております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	毎朝会議にて当日の動きの確認をしております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	勤務時間が許す限り終礼も行っている。	必ずといわれると必ずではない。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	会議にて振り返り検証を行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	計画が大きく進んだ際などは適時見直しは修正等の受付はしております。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	参加する機会がある際は児童発達支援管理責任者が出るようにして、必要でしたらスタッフも随伴してもらっています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	“はい、各機関とも連携対応をさせて頂いております。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	2	担当者会議の機会がありましたら出席できるようにさせて頂いております。参加できない場合も資料の提出はするようにしており情報共有に努めております。	対応できる施設さんとは連携を図っているのですが全部の事業所という点と出来ていない施設様もあります。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	可能な限りで対応をさせて頂いております。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)	0	0		
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	0	0		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	0	0		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	0	0		
	31	(31は、事業所のみ回答)			児童発達支援センターとの更なる連携に努めたいと思います。	スーパーバイズの意味がわからないスタッフさんもいましたので説明しております。児童発達支援センターの方にも今後スタッフを紹介したいと思います。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	2	管理者個人としてはよく対応しています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	3	近隣の幼稚園・保育園の児童さんと活動する機会があるのですがイベントとしては取り組んでいません。	企画した内容ではないので今後、イベントの検討したいと思います。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	会議項目の中に入れてさせて頂いております。送迎時の対応や伝え方の練習も行っております。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3	送迎時やお電話、対面で個別にての状況提供などはしております。	家族参加型の研修は行っていませんので今後二週があれば作っていきたくは思っております。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	契約時、受給者証の更新時などに説明をさせて頂いております。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	モニタリングの更新時にご家族様の意向・児童様の意向を聞く時間をとらせていただいております。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	面談後に支援内容の大筋は決めておき、その後に加筆、修正点がある場合は適時説明させてもらっております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	モニタリングや送迎時、電話なども活用しつつ皆さん（スタッフも）時間を作って対応してくれていると思います。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	5	家族参加型のイベントは設けていませんが見学などは随時OKにしてましてその際にご兄弟さんを連れてきてもらってもOKとさせてもらっています。	求めるニーズの声によっては交流会の企画も考えております。現状働かている親御様が多いので作れない状況です。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	迅速に対応にあたらせて頂いております。当日中に連絡がとれるようにして、日をまたがないよう対応させてもらっています	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	ブログにて毎月更新・掲載中	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	連絡帳に住所・連絡先欄の廃止。万が一紛失した際に所在がわからないようにしています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	絵カード、マカトン、予定ボードをベースにしご家庭の使っている物も参考にしながら個別用のも用意したりしています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	0	開かれているか？とつかは判断できませんが地域の方との交流は良好かなと思っております。どういった施設なども理解して頂いております。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定するとともに、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	各月適時取り組んでおり、実践訓練も想定を毎年変えて取り組んでおります。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	各月適時取り組んでおり、実践訓練も想定を毎年変えて取り組んでおります。避難先が遠いので一時避難場所も決めております。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	初回アセスメントにて聞き取り後はモニタリングの更新時にもアセスメントの更新をしますのでその際に聞いております。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	アレルギー対応表を利用者様ごとにキッチンに置いております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	適時研修・訓練の実施を行っております。計画の更新もなるべくできるようにしています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	他の事業所の事例案も確認しながら、児童様の特性も変わりますので、都度お話を伺い安全計画を作成しております。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	1	毎月1回は必ず会議の開催。緊急性の高い事案はすぐに対処するようにしています。	会議の際に欠席などが出ると引継ぎの連携がおろそかになっている場合がありますので必要性が高い共有情報は伝達できるシステムをつくります。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	スタッフとは毎月対面協議をしています。その中で事例もあわせて虐待か否かの検討会議をしています。なにをもって適正なのかも皆さんと検討した上で親御様にも意見を頂いて個々に合わせた対応方法を決めてますのでなんでもかんでも虐待とするのではなくきちんと見極めて対応したいです。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	身体拘束委員会でもケースの共有をしておりますがなるべくつかわないよう環境整備をしても無理な場合、緊急性がた際に取り組むようにしています。	

公表

## 児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	リールスメイト虫池		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		～ 2026年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	0	(回答者数) 0
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		～ 2026年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<b>幅広い層の障がい児童の支援</b> ：当事業所では様々な障がい児童さんが集団での生活をしています。障がいの度合いによって利用をお断りすることなく受け入れをすることにしていて、各ご利用者様にも様々な特性の子がいることも知ってもらいたいと思っております。共生できる手段をスタッフも学び児童さんにも感じ取ってもらえればと思います。	総合的な支援ができることをしておりまして個別活動（学習・巧緻性の向上・生活課題）と集団活動（グループで活動を通して動く練習）をしております。 余暇時間の過ごし方も児童さんたちにアンケートを取り、デイ内にあるものがあるならお買い物練習を兼ねて買いに行き、お出かけをするなら児童さんと計画を立てて遊びに行くようにしています。	行っている取り組みは良いと思っていますのでこれらの幅を引き続き広げていくように取り組んでいければと思っております。後、どうしてもスタッフが入れ替わるタイミングがありますのでその際にも短い期間で安定した支援ができるよう取り組みたいと思います。
2	<b>利用日の多さ</b> ：昨今の家庭環境に合わせられるように営業日を多くとっています。又、活動時間も多めにとっていますので共働きの世帯の方でも利用しやすいかと思っております。親御様にも生活にゆとりをもたらすことで家庭が円滑になると思っております。	急な時間変更にも対応できるようにしております。その際に児童さんに予定の変更を先に伝えております。 ご家族様の急なトラブルなどで時間変更が起こる際もそれの一つの経験としてとらえていますので児童さんがパニックになっても「そーいうこともある。」という気持ちで見せていただいております。	現行の制度ではこれが限界かなと捉えています。定員超過が難しいので新規のお問い合わせをお断りするケースが増えておりますので他事業所様の斡旋などができるよう努めたいと思います。
3	<b>同グループ施設との連携</b> ：近く同グループのショートステイがありますので連携して動くことが出来ます。日中はデイを利用して帰りはショートステイのお迎えが来てそこからショートステイで宿泊練習をすることなどもできます。	同グループ店舗さんとのやり取りや連絡などで利用日などの共有お互いに気になることがありましたらすぐ連絡にてやり取りできるようにしております。	少し遠いのですが同グループの放課後等デイもありますので連携を図って活動の共有や交流なども引き続き、もっとたくさんできれば良いかなと思っております。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<b>児童発達支援の児童さんが少ない</b>	現在利用されている未就学児童さんが少ない為、同じ世代間で遊びや活動の共有などが難しく感じております。同年代で取り組みをさせたい！というご家庭様のニーズには応えてないです。	現在の事業所では年齢層を合わせていくのは難しいのですが年齢層の違うメリットなども教えていければと思っております。とそういった学年層を合わせたデイさんを紹介できるようにもなればと思います。
2	<b>新規で児童さんが入りづらい</b>	去年度でも同じ事を書かせて頂きましたが、今期も現状空きがなく、新規での利用者が入れなくてメンバーの固定化になります。なので、同世代がいなくて来て欲しい！という方のご希望には沿えずらいです・・	現状の定員枠ではこれ以上は難しいので新しい施設の進言や他事業所さんとの連携を図り、開いている施設さんの促してみるなどしたいです。
3	<b>スタッフの入れ替わり</b>	どこの施設さんでもあるかもしれませんがスタッフの入れ替わりがどうしてもおこってしまいます。事情も様々なのですが若いスタッフさんが将来を見据えられるお仕事としては見づらいのだと思います。	現役世代の方がこれから来てくれる若い世代の子の育成をしていく中で魅力のアピールもするのですがそれだけでは無理があるので待遇面での改善も会社に訴えていくのと国自身も変わっていただけるよう訴えかけたいです。

事業所名

リールスメイト蛭池

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

2024 年

9 月

1 日

法人（事業所）理念		子どもの人権や主体性を尊重し、子どもの最善の利益を図るため、保護者や地域社会と力を合わせて子どもを主体とした福祉の推進に積極的に取り組みます。											
支援方針		多様な活動・体験機会の提供を通じて、現在抱える子どもの困り事や生き辛さを改善し、子ども達が自分らしく生き抜く力を育み支える。											
営業時間		平日 土・祝・長期休暇	13 (11)	時	0	分から	19 (17)	時	0	分まで	送迎実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし
支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	事業所スタッフにより来所時の健康チェック、来所時や飲食前、トイレ使用後等の手洗い等を通じ、健康を保持しつつ活発な活動参加ができるよう支援。 ご利用児童の特性に合わせ、構造化を意識した部屋のレイアウト・掲示・支援により、安心・安定して通所・活動できるよう支援。 保護者との密接な連絡調整と連携により、定期的なご利用を促進し、児童本人の生活リズムの形成・安定を図る。											
	運動・感覚	ストレッチ・体操・サーキット活動等の提供により、姿勢および運動や動作の基本的技能を維持・向上を促進。 音楽に合わせて身体を動かす活動等の提供により、児童が保有する聴覚・視覚・触覚など感覚を刺激し、十分に活用することを促進。 (児童ひとりひとりの身体の状態に合わせ必要な場合)活動時間中に適切な姿勢保持装置や車いすを活用することで、姿勢の保持や移手段の確保を図る。											
	認知・行動	支援スタッフが児童ひとりひとりの認知の特性を理解・把握するよう努め、それらを踏まえて児童が自分に入ってくる情報を適切に処理できるよう支援。 粘土細工などの創作活動の提供により、児童が視覚・触覚・嗅覚などを通じて物の形や色・重さの変化していくことを体感し、認知機能の発達を促進。 外出（散歩）活動の提供により、児童が季節の移り変わりによる様々な変化を自ら体感することで、過去の情報と照合しつつ環境の状況や変化を把握・理解できるよう支援。											
	言語 コミュニケーション	はじまり（終わり）の会等の機会を通じ、コミュニケーション（言語・非言語のやり取り）により、相手の意図を理解することや自分の考えを伝えられるよう支援。 活動中の意図的な声掛け等により、ご利用児童ひとりひとりの発達状況や興味・関心に合わせ、言語・表情や身振りなどを用いて意思を伝えることを促進できるよう支援。 散歩活動中等の声掛けにより、個々に合わせた環境設定により相手と同じものに注意を向け、徐々にその行動や意図を理解していくことを促進。											
	人間関係 社会性	活動中や活動前後の事業所の支援スタッフとの密なやり取りにより、多様な他者との関わりの機会および環境を提供することで人間関係形成の促進。 感覚機能や運動機能を刺激する集団活動（例：ダンス活動等）の提供により、他の児童と活動に参加することの楽しみを感じることで、社会性を促進。 ご利用児童ひとりひとりの関心や理解度に合わせつつ、ルールのあるゲーム活動の提供により、集団に参加する楽しみや手順を徐々に理解できるよう支援。											
家族支援		ご利用児童を支える保護者・家族のレスパイト、就労確保の預りニーズに対応し、必要に応じて延長支援を実施。児童の発達状況を相互に理解し合えるよう定期的に情報交換を実施。						移行支援		学童保育を併用している場合の連絡調整を行い、必要に応じて移行支援。希望の進路先を見据えた本人・保護者等との相談援助を実施。			
地域支援・地域連携		ご利用児童がスムーズな生活を送れるよう、通学先の学校の先生、併用している他の支援事業所担当者との連絡調整や連携の実施。						職員の質の向上		年間研修計画に基づき、計画的かつ定期的に全職員および職層別の研修を実施する。			
主な行事等		新入生歓迎会（4）、夏祭り・水遊び（8月）、クリスマス会（12月）、お別れ会・卒業イベント（3月）、外出活動（毎月）、お店屋さんごっこ（不定期）											

事業所名

リールスメイト蛭池

## 支援プログラム（児童発達支援）

作成日

2024 年

9 月

1 日

法人（事業所）理念		子どもの人権や主体性を尊重し、子どもの最善の利益を図るため、保護者や地域社会と力を合わせて子どもを主体とした福祉の推進に積極的に取り組みます。											
支援方針		成長著しい乳幼児期のお子様ひとりひとりの発達の充実が図られるよう、保護者や地域の支援機関との連携を重視しながら、個々のニーズに合わせ工夫を凝らした多様な活動・体験機会を提供することを通じ、就学に備えられるよう支援する。											
営業時間		平日 土・祝・長期休暇	13 (11)	時	0	分から	19 (17)	時	0	分まで	送迎実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし
支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	事業所スタッフにより来所時の健康チェック、来所時や飲食前、トイレ使用後等の手洗い等を通じ、健康を保持しつつ活発な活動参加ができるよう支援。 お子様ひとりひとりの特性に合わせ、構造化を意識した部屋のレイアウト・掲示・支援により、安心・安定して通所・活動できるよう支援。 保護者との密接な連絡調整と連携により、定期的なご利用を促進し、お子様本人の生活リズムの形成・安定を図る。											
	運動・感覚	ストレッチ・体操・サーキット活動等の提供により、姿勢および運動や動作の基本的技能を維持・向上を促進。 音楽に合わせて身体を動かす活動等の提供により、お子様が保有する聴覚・視覚・触覚など感覚を刺激し、十分に活用することを促進。 (お子様ひとりひとりの身体の状態に合わせ必要な場合)活動時間中に適切な姿勢保持装置や車いすを活用することで、姿勢の保持や移動手段の確保を図る。											
	認知・行動	支援スタッフがお子様ひとりひとりの認知の特性を理解・把握するよう努め、それらを踏まえてお子様が自分に入ってくる情報を適切に処理できるよう支援。 粘土細工などの創作活動の提供により、お子様が視覚・触覚・嗅覚などを通じて物の形や色・重さが変化していくことを体感し、認知機能の発達を促進。 外出（散歩）活動の提供により、お子様が季節の移り変わりによる様々な変化を自ら体感することで、環境の状況や変化を徐々に把握・理解できるよう支援。											
	言語 コミュニケーション	はじまり（終わり）の会等の機会を通じ、コミュニケーション（言語・非言語のやり取り）により、相手の意図を理解することや自分の考えを徐々に伝えられるよう支援。 活動中の意図的な声掛け等により、お子様ひとりひとりの発達状況や興味・関心に合わせ、言語・表情や身振りなどをを用いて意思を伝えることを促進できるよう支援。 散歩活動中等の声掛けにより、個々に合わせた環境設定により相手と同じものに注意を向け、徐々にその行動や意図を理解していくことを促進。											
	人間関係 社会性	活動中や活動前後の事業所の支援スタッフとの密なやり取りにより、多様な他者との関わりの機会および環境を提供することで人間関係形成の促進。 感覚機能や運動機能を刺激する集団活動（例：ダンス活動等）の提供により、他のお子様と活動に参加することの楽しみを感じることで、社会性を促進。 お子様ひとりひとりの関心や理解度に合わせつつ、ルールのあるゲーム活動の提供により、集団に参加する楽しみや手順を徐々に理解できるよう支援。											
家族支援		お子様の発達状況を相互に理解し合えるよう、こまめな気づきの共有と情報交換を実施。お子様を支える保護者・家族のレスパイト、就労確保の預りニーズに対応し、必要に応じて延長支援を実施。						移行支援		保育所等併用している場合の連絡調整を行い、必要に応じて移行支援。希望の進路(就学)先を見据えた保護者等との相談援助を実施。			
地域支援・地域連携		お子様がスムーズな生活を送れるよう、保育所・幼稚園等の先生、併用している他の支援事業所担当者との連絡調整や連携の実施。						職員の質の向上		年間研修計画に基づき、計画的かつ定期的に全職員および職層別の研修を実施する。			
主な行事等		新入生歓迎会（4）、夏祭り・水遊び（8月）、クリスマス会（12月）、お別れ会・卒業イベント（3月）、外出活動（毎月）、お店屋さんごっこ（不定期）											